



スキー協通信

No.383

発行

2016.5.1

東京都勤労者スキー協議会

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-39-2大住ビル4F 03(3971)4144

ホームページ: <http://www.tokyoskikyo.org/> E-mail: info@tokyoskikyo.org

発行責任者・出崎福男

春を楽しむ! 大原 GS&SL レッスン



5回目の復興支援も一区切り...

春休み子どもスキー



目次

第49回定期総会開催告知／スノージャンボリー報告	2頁
大原 GS&SL レッスン報告	3頁
震災復興春休み子どもスキーボランティア参加記／山スキー委員会より	4・5頁
5・6月のカレンダー	6頁

東京スキー協 第49回定期総会 開催告知

下記日程、議題で第49回定期総会を開催します。

日程： 2016年6月19日（日曜） 午前10時開会

会場： 未定（都内、池袋駅または大塚駅周辺を予定）

議題： 1. 第48期活動報告 2. 第48期決算報告 3. 第49期活動方針（案）
4. 第49期予算（案） 5. 第49期役員選挙 6. その他

会場が決まり次第、招集状を各クラブにお送りします。招集状の記載内容に基づいて全クラブから代議員の届出をお願いします。また、今総会に向けてクラブ活動報告の提出を理事長名でお願いしております。頂いた報告をそのまま総会当日に配布したいと考えています。総会へのクラブ会報（通信）の持ち寄りも呼びかけています。

発言以外のかたちでも、この1年の皆さんの活動という財産を共有できる総会にしていきたいと思えます。皆様のご協力よろしく申し上げます。

よそおい新たに… スノージャンボリー2016

3月19-21日の3日間、東京スキー協主催のスノージャンボリーが志賀高原スキー場で開催され31名が参加しました。今回のスノージャンボリーは多様なスキー要求に応えようと、19、20日の2日間は「志賀高原全山コース」「技術レベルアップコース」「山スキー体験コース」「コブ入門コース」の4つを設けました。気温が上がった初日は、春の緩んだ雪だったのが、2日目は一転してカチカチのアイスバーンと雪質はめまぐるしく変わりました。「コブ入門コース」は現地スキースクールの北村校長を講師に、変化に富んだコブ斜面を滑るための考え方・技術を学びました。「山スキー体験コース」は、横手山周辺の誰も滑っていない静かな山へ入り、自然を満喫してきました。3日目は、「憲法第9条を守ろう！」のゼッケンを背にコスプレ滑走を行い、記念写真をせがまれたり、「第9条って何の条文だっけ？」と質問されるなど注目を集めました。雪質も前夜の降雪のおかげで午前10時過ぎごろまではかなり良好で楽しく滑れました。以下参加者の声をご紹介します。（実行委員会）



コブ入門コースに参加しました。講師は現地スキースクール校長の北村さん、生徒は11人。賑やかで楽しかったです。カービングを使わないで、左右のバランスを考えてずらして滑ること、コブを想定して、タイミングのよい回転など、コブに入る以前に性能のよい小回りができることが、重要な基礎・基本なんだと思い知りました。でも自分にとって、コブを楽しめる日はほど遠いようです。

最終日はコスプレでゲレンデ巡りをしました。思いがけず、初音ミク（アニメ？）ちゃんをやることになり、水色の長髪をなびかせてミニスカートで駆け巡り、若い子たちが「かわいい」と言ってくれました。コスプレって何だろう？ 「憲法第9条を守ろう」を背につけて平和への思いを発信できたこと・ゲレンデを盛り上げたこと・自分たちも楽しめたことが良かったのかな？（モルゲンローテ 三井邦子）

スキー人生最大の凄い経験でした。来年は白雪姫をやりたいなあ（マラヂェツ 林桂子）

山スキー体験コースに参加しました。登り3時間下り1時間のコースで、前日に降った雪が樹氷になり、白い花の木が続いているような林の中を貸していただいた踵が上がる板とシールで快適に歩きました。登りがあまり楽なので、びっくりでした。反面、滑って止まる度に前につんのめって転ぶのには閉口しました。しかも、ストックが潜るので、なかなか立ち上がれない…。ゲレンデとは色々と勝手が違うのでかなりジタバタしましたが、楽しい体験でした。（練馬ヒューマン 車田夕紀子）

ワクワク春の 大原 GSL & SL レッスン 2016/4/9・10

今年の技術選に3年ぶりチャンピオンに返り咲いた吉岡大輔さんをコーチに迎えて、競技スキー委員会の主催のGS、SLのレッスンが行われました。コーチの滑りをしっかり目に焼き付け、コーチのうんちくを耳にとどめつつ、夜は我を忘れるミーティングに、教わったことまで忘れてしまいました。参加者は春の大原を存分に楽しみました（なんのこっちゃ）。大原では今年もマスターズの大会が開催されており、舞子スキークラブの阿部、森田、片桐氏のスキー協レッスン担当三羽ガラスが参加していました。阿部さんは今年もぶっちぎり優勝。

大原では大会観戦や宿の山菜やヤマメ料理等々レッスン以外の楽しみも味わえます。レッスンは、フリーでの課題レッスン、ゲートでのポイント、宿に帰って、ビデオ解説が行われます。今回は特別に吉岡コーチからいただいた貴重な講習の一部を公開しちゃいます。

GSレッスン

①ローテーションを使ったターン…いつも体の下に足があって、リスクの少ない滑り、②傾きを使ったターン…エッジを使ってずれの少ない速い滑り。急斜面や悪雪では①を意識しリスク回避、緩斜面やエッジの効く斜面では②の滑りで走らせる。

SLレッスン

①ローテーションを使ったターン、②傾きに加えて縦に踏むターン…外足を後ろから前に振り出すイメージで。斜面や雪質に対応して、滑りをコーディネートできれば、失敗は少なく、タイムも縮まる。

ミーティングの後は、技術選優勝ミニ祝賀会を開催、そのなかで、技術選で意識したことや、技術選の雰囲気、技術選と競技の違いなども話してくれました。

今年は常連メンバーにとどまらず、昨年も参加した“まっくろけ”のジュニア、初参加のシーハイルなど20人近いスキー狂が集まりました。ポールをやる方もフリーしか経験ない方も来年は吉岡スクールとポールを経験してみてちょーだい。（高橋勝美）



震災復興春休み子どもスキーボランティア参加記

田畑 健（スキークラブこなゆき）

東日本大震災から5年、毎年春休みに行ってきた子どもスキーも今回が最後という。子どもたちの笑顔見たさに、今年も岩手と宮城に行ってきた。岩手は3月19、20日、八幡平リゾートスキー場、宮城は3月28、29日、蔵王えぼしスキー場で行われ、雪不足の中ボランティア・指導員の奮闘で無事終わった。

*** 林業を継ぐという優雅くん、がんばって!! ***

岩手スキー協・佐藤静雄会長をはじめ、子どもスキー指導のベテラン・川村勝副会長など岩手はしっかりした組織力と、経験豊かな指導力で、バス1台36人の小学生と保護者(大人)2人を迎え入れ、38人のボランティアの協力で無事成功した。今回の参加は、県沿岸エリア中部の田野畑小7、岩泉小23、有芸小2、田老第一小4人で、5年かけて県内被災地全域の子どもたち203人、大人29人を招待、参加ボラ3月19日、田野畑小学校前を朝8時に出発した専用バスは、小本駅前と岩泉駅前子どもたちを乗せ、11時過ぎ八幡平リゾートホテルに到着、ボランティアは拍手で子どもたちを迎えた。担当のスキー指導員を交えてホテルの食堂で昼食のカレーを食べ、子どもたちはレンタルウェアを受け取り部屋にて着替えてから、名札の付いたスキー靴、ヘルメット、スキーの順に合わせて行く。これらも指導員の大事な仕事だ。晴天には恵まれたが泥んこを避け、開会式、記念撮影は残った雪の上に集まって行われた。

私は地元・山本功指導員と組んで、ハの字で滑れる3・4年生の男子3人を担当した。初心者を担当した指導員は、初心コースに雪がなく、苦労されたことと思う。私たちの班は初級者ということで最初からリフトに乗り、滑降を楽しんだ。はじめ転んでばかりいた優雅くんも、2本目からは慣れて転ばなくなり、3人で仲良く滑った。コースを熟知している山本氏に先頭を滑り指導をしていただき、私はラストで「祥真くん、もっと体を起こして、遠くを見て」などと言っていけばよく、楽をさせていただいた。雪はグザグザの腐れ雪で

滑りにくかったが、振り返れば白い岩手山と西に連なる岩尾根が見渡せ、展望を楽しめるスキーだった。

リフトに乗りながら優雅くんから聞いた話。「ぼくの家は曾おじいちゃんが創めた林業をされていて、ぼくも後を継ごうと思っている。でも林業は仕事が大変で給料も安い。それに材木は輸入に押されて安くしか売れないんだって」。私は「山が好きだったらお父さんの後を継ぐと喜ばれるよ、頑張る。勉強が好きだったら大学へ行って林業を研究する道もあるよ」と付け加えた。優雅くんの家の周りにはウサギやテンがいて、ハンターが獲った熊の毛皮の血を川で洗っているのも見たと言う。

夕食後の交流会は、菊川さん(東京・プレアデス)の指導で、「清正じゃんけん」や風船運びなどのゲームが行われ、小柳さん(東京・モルゲンローテ)のギター伴奏で「ふるさと」や「ピリブ」を全員で歌い、楽しくも絆を深めるひと時を過ごした。その後のボランティアと父母の懇談会では、津波で行方不明になった人々の捜索のときスキーブーツが沢山見つかり、沿岸地域にもスキー愛好者が多くいることが分かり、5年続いた春休み子どもスキーが歓迎されたことや、今後も続けて欲しいとの要望が熱く語られた。また、原発事故で故郷に帰れない福島県の子どもたちをスキーに招待するボランティア活動を、多くの困難があっても実行しようとの発言が、私を含めて複数からあった。

翌20日も晴天に恵まれ、子どもたちは春雪のゲレンデを滑りまくった。ふるさとの山・岩手山は、終日微笑んでいてくれた。

*** スキーも生活も子どもと一緒に ***

宮城県はスキー協組織がなく、地元スポーツ連盟や労山などの協力を得て、全国スキー協が参加者とボランティアを直接組織しての実行体制をしてきた。なかでも石川正三氏の働きを抜きにしては、宮城での子どもスキーの継続実施はありえなかったといえよう。今回も女川・石巻地域と亘理・山元地域からバス1台ずつ、子ども83人、大

人1人の計84人が参加、ボランティアは47人が対応した。

宮城県蔵王えぼしスキー場は、岩手県八幡平リゾートスキー場よりも積雪が少なく、2000mのゴンドラリフトで上った石子ゲレンデから上部のエリアしか滑れず、リフトの運行も3本に限られていた。全体のスケジュールは岩手と同様で、第一

日目は、午後からのスキー教室となった。私は秋田の牧隆雄さんと1班小学1年の男子生徒3名を担当した。ゴンドラから見る景色に歓声をあげていた子どもたちも、片足にスキーをつけ、平らな雪の上を歩かせると静かになる。私の流儀は、先ず子どもにスキーで滑る楽しさを味わってもらうこと、そのためにはごく緩やかなで下部が平らで自然に止まる斜面を歩いて登り、子どもが履くスキーのトップをしゃがんで両手で押さえ、1、2、3、でスタートさせる。滑る距離が3、5、10メートルと次第に伸びて行き、30メートルを超えるようになったら、転ばないで自然に止まったら大いに褒める。こうなると子どもは滑る楽しさが身につく。プルーク停止、進行方向を向いての緩やかな回転、階段登高、などはそれから教え、プルーク停止が出来たらリフトに乗せる。

仁成(ひとり)さんと倭也(ゆきや)くんはハの字が少し出来るので牧さんにお願ひし、私の流儀で廉(れん)くんを教えた。私はスキーをつけずに廉くんが滑る後を徒歩で追いかけて、転んで止まった所から廉くんのスキーを担いで斜面を登りまた滑るという練習を繰り返した。大きなもみの木まで転ばずに滑り50メートル、さらにその下のかもしか食堂まで滑り80メートル…、その日は終わった。

バスでホテルに着いたら3人の子どもたちを515号室に案内し、着替えを持ってまずは風呂に一緒に行く。他のお客の迷惑にならない程度の騒ぎ様には目をつぶる。夕食は大食堂でバイキング、でも最初に一皿だけ付くのは子どもにはフライ、大人は刺身。倭也くんが私の刺身を見て、欲しいというので、あげる。倭也くんが皿にとってくるのはお魚さん、最後まで蟹の足にかじりついていて。廉くんは牛タンを7皿(14枚)も平らげた。食事の後は別室でビンゴゲーム、30分を超えてやや長かった。部屋に戻ると、枕投げ、布団巻き、かくれんぼ…と子犬のようにじゃれあって遊ぶ。そ

れでも寝る前に感想文を書いてもらう。廉くんが言うことを、仁成くんは廉くん代わりに代わって鉛筆をとる。約束の就寝時間21時30分に電灯を消すと、すやすやと寝入ってくれて、やれ安心。岩手では生活指導として大人が子どもと一緒に宿泊しないが、朝4時まで起きていて、翌日元気ない子どもがいた。宮城は子どもの全室に大人が同室するようにしている。この辺も検討課題かな？

カラオケルームで行われたボランティアの交流会では、各県毎の自己紹介が行われ、参加の父母からは今後も続けて欲しいとの強い要請発言があった。私は隣席の赤間さんに、5年間のご協力に感謝を申し上げるとともに、労山がスポーツ連盟から退会したが、宮城県では今後とも協力・共同の関係を続けて行くようお願いした。

第二日も晴天、雪はどんどん消えていく。石子ゲレンデで昨日の続きの練習をし、一休みしてから、石川さんの助言と案内でダイナミック第二リフトに移動、ここで初めてリフトに乗り3本ほど滑る。雪が悪く初心の廉くんは難渋したが、石川さんに面倒をみていただき、無事終了した。

この5年間の子どものスキーの経験を活かして、スキー協は今後とも子どもにスキーの楽しさを広げる活動を重要な活動として位置づけ、取り組んでいきたいものである。



山スキー委員会よりお知らせ

○今後の教室日程

回	日程	行事名	主管クラブ・打合会
③	(中止) 3/12(土)～13(日)	乗鞍高原(長野)	こなゆき 2月23日(火)
④	5/3(火)～5/5(木)	鳥海山(秋田)	三多摩 4月13日(水)
⑤	(中止) 5/3(火)～5/6(金)	八甲田山(青森)	スノモン 4月20日(水)
⑥	5/20(金)～5/22(日)	立山・剣沢(富山)	三多摩 5月10日(火)

○全国山スキー一部会関係行事

乗鞍岳 大滑降交流会 2016年5月14日(土)～15日(日) 1泊2日

5・6月カレンダー

5月	東京スキー協	全国スキー協、他	6月	東京スキー協	全国スキー協、他
1日(日)			1日(水)		
2日(月)		常任理事会	2日(木)	常任理事会	常任理事会
3日(火)			3日(金)		
4日(水)	・鳥海山山スキー教室 (5日まで) ・八甲田山山スキー教室		4日(土)		
5日(木)			5日(日)		
6日(金)			6日(月)		
7日(土)			7日(火)		
8日(日)			8日(水)		
9日(月)		常任理事会	9日(木)		
10日(火)	組織局会議		10日(金)		
11日(水)			11日(土)		定期総会
12日(木)	常任理事会		12日(日)		〃
13日(金)			13日(月)		
14日(土)	かぐらフリーレッスン	乗鞍大滑降	14日(火)		
15日(日)	〃	〃	15日(水)		
16日(月)			16日(木)		
17日(火)	山スキー委員会		17日(金)		
18日(水)			18日(土)		
19日(木)	理事会⑥		19日(日)	第49回定期総会	
20日(金)	立山・剣沢		20日(月)		
21日(土)	〃		21日(火)	広報局会議	
22日(日)	〃		22日(水)		
23日(月)			23日(木)		
24日(火)	広報局会議		24日(金)		
25日(水)			25日(土)		
26日(木)			26日(日)		
27日(金)			27日(月)		
28日(土)			28日(火)	通信発送/総務局会議	
29日(日)			29日(水)		
30日(月)			30日(木)		
31日(火)	通信発送/総務局会議				

編集後記 **エビノシッポ**

またしても甚大な地震災害が起きてしまいました。断層だらけの日本、いつどこで大きな地震が発生するかわかりません。そろそろ原発はやめませんか。そして東北の被災地のことも忘れないでくださいね。(h.k.)